

市町村に対する社会教育士の活用状況調査について

1 概要

社会教育士の活用状況調査について、県内 54 市町村に対してアンケート調査を実施した。

【調査の概要】

- 1 調査対象：市町村教育委員会生涯学習担当課
- 2 調査期間：2024 年 9 月 11 日（水）～9 月 20 日（金）
- 3 調査方法：Microsoft Forms
- 4 回収状況：100%（全ての市町村から回答あり）
- 5 調査内容：
 - ①市町村で作成している計画等の中に社会教育士についての記載をしているものはあるか。
 - ②（①が「ある」の場合）どのような計画が記載されているか。
 - ③今後、社会教育士について計画等に記載する予定があるか。
 - ④社会教育士を活用している事例があるか。
 - ⑤社会教育士に期待することがあるか。

2 調査結果

①市町村で策定している計画等の中に社会教育士についての記載をしているものがあるか。
（回答数：54）

項目	回答数
ある	1
ない	53

②どのような計画が記載されているか。（回答数：1）

【稲沢市】

2023 年度策定の「2019 稲沢市生涯学習推進計画中間見直し」の中で「文部科学省が認定し、教育委員会の任命が必要のない社会教育士は、社会教育施設や教育委員会事務局だけでなく、地域、社会、世界で解決が目指される多様な課題に取り組む地方公共団体の各部局や、NPO、企業、学校などの他、地域活動やボランティア活動などにおいても、活躍されることが期待されています。」と記載。

③今後、社会教育士について計画等に記載する予定があるか。（回答数：53）

項目	回答数
ある	2
ない	51

④社会教育士を活用している事例はあるか。（回答数： 1）

市町村	事例
名古屋市	社会教育士を条件にした職員募集や指定管理者の選定は行っていない。しかし、市職員の中に、社会教育士の称号を取得している職員がおり、社会教育士の技能を生かし地域づくりに関わっている。 また、PTAやキャリア教育関係の団体に社会教育士がおり、社会教育主事と連携した取り組みを模索している。

⑤社会教育士に期待することがあるか。（回答数：15）

市町村	内容
名古屋市	・ N P O、民間企業、社会教育関係団体等に社会教育士が配置され、社会の幅広い領域での活躍 ・ 地域学校協働活動推進員として、地域の社会教育のコーディネート・オーガナイズ ・ 社会教育士のネットワーク化・コミュニティ形成により、様々な人材・部局・機関の連携促進
一宮市	・ 市民活動団体や社会教育団体の立ち上げ・運営に関わり、地域コミュニティを活性化させること ・ 教育委員会以外に配属される市職員については、部署間の調整や住民主体の行政運営を推進すること（ただし、現在、教育委員会以外に社会教育士はいない）
瀬戸市	・ 人と人をつなぐコーディネーターとしての役割
半田市	・ さまざまな分野の学習活動の支援等での活躍
春日井市	・ 認知度の向上 ・ 各市町村での社会教育士の活用事例を知ることができること
津島市	・ 地域住民と行政をつなぎ社会教育活動を支援すること ・ 社会教育施設での活動のみならず、社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて人づくりや、地域づくりに携わる役割
豊田市	・ 分野、地域を超えたコーディネート
蒲郡市	・ 教職員が社会教育主事講習に多く参加されていると聞いているので、学校と地域との協働の部分で架け橋になること
江南市	・ 学校や公民館などに社会教育士が配置されることで、地域の教育資源を活用した学校教育・成人教育が展開され、教育活動が地域と密接な関係を築くこと
稲沢市	・ 地域活動等での中心的役割
知立市	・ 社会教育士が各分野・立場で団体・地域に合わせた活動の支援や行政との懸け橋になってくれること
あま市	・ 社会教育主事講習で、多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識及び技能の習得を図る「社会教育経営論」を修了していることから、例えば地域学校協働活動推進員として、学校と地域の橋渡し役を担う人材として地域学校協働活動の推進に貢献すること
東郷町	・ 地域活動やボランティア活動での中心的人物となり、地域づくりを推進することで住民同士の関係を深めるきっかけをつくること
大治町	・ 学びのオーガナイザーとして社会教育士の分野において多角的に考察できること
幸田町	・ 知名度が低いため、社会教育士の役割や活動、必要性の PR が必要